

平成28事業年度  
( 第 13 期 )

決 算 報 告 書

国立大学法人  
長岡技術科学大学

# 平成28年度 決算報告書

国立大学法人 長岡技術科学大学

(単位：百万円)

区 分	予算額	決算額	差額 (決算 - 予算)	備考
収入				
運営費交付金	3,572	3,571	1	(注1)
施設整備費補助金	-	65	65	(注2)
船舶建造費補助金	-	-	-	
補助金等収入	523	559	36	(注3)
大学改革支援・学位授与機構施設費交付金	33	25	8	(注4)
自己収入	1,530	1,558	28	
授業料、入学金及び検定料収入	1,339	1,345	6	(注5)
附属病院収入	-	-	-	
財産処分収入	-	-	-	
雑収入	191	213	22	(注6)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	963	957	6	(注7)
引当金取崩	-	-	-	
長期借入金収入	-	-	-	
貸付回収金	-	-	-	
目的積立金取崩	46	-	46	(注8)
前中期目標期間繰越積立金	-	201	201	(注9)
計	6,667	6,936	269	
支出				
業務費	5,148	4,977	171	
教育研究経費	5,148	4,977	171	(注10)
診療経費	-	-	-	
施設整備費	33	90	57	(注11)
船舶建造費	-	-	-	
補助金等	523	559	36	(注12)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	963	887	76	(注13)
貸付金	-	-	-	
長期借入金償還金	-	-	-	
大学改革支援・学位授与機構施設費納付金	-	-	-	
計	6,667	6,513	154	
収入 - 支出	-	423	423	

#### 予算と決算の差異について

- (注1) 運営費交付金については、前年度繰越分の年俸制導入促進費のうち、当年度においての使用見込額であった平成26年度精算分を前中期目標期間繰越積立金へ組み替えたことにより、予算金額に比して決算金額が1百万円少額となっています。
- (注2) 施設整備費補助金については、教育研究基盤装置分等が追加交付されたことにより、予算金額に比して決算金額が65百万円多額となっています。
- (注3) 補助金収入については、計画変更等により予算金額に比して決算金額が36百万円多額となっています。
- (注4) 大学改革支援・学位授与機構施設費交付金については、交付額の減により、予算金額に比して決算金額が8百万円少額となっています。
- (注5) 授業料、入学金及び検定料収入については、予定より授業料等の納入者数が増えたため、予算金額に比して決算金額が6百万円多額となっています。
- (注6) 雑収入については、学内合同企業説明会参加費見直し等による収入の増により、予算金額に比して決算金額が22百万円多額となっています。
- (注7) 産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、産学連携等研究収入の前年度からの繰越額が37百万円増え、寄附金収入についても11百万円増えたが、平成28年度の産学連携等研究収入が54百万円の減となったため、予算金額に比して決算金額が6百万円少額となっています。なお、前年度からの繰越額は151百万円です。
- (注8) 目的積立金取崩額については、前中期目標期間繰越積立金へ組み替えたことにより、予算金額に比して決算金額が46百万円少額となっています。
- (注9) 前中期目標期間繰越積立金については、運営費交付金から組み替えた退職手当の前年度繰越額、及び年俸制導入促進費の前年度繰越額、平成26年度決算までに生じた目的積立金の未使用額、平成27年度決算により生じた目的積立金相当額により、予算金額に比して決算金額が201百万円多額となっています。
- (注10) 教育研究経費については、経費の節減に努めたこと、また、学内既定事業から関連補助金への一部執行を振替えたことによる支出減等により、予算金額に比して決算金額が171百万円少額となっています。
- (注11) (注2)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が57百万円多額となっています。
- (注12) (注3)に示した理由により、予算金額に比して決算金額が36百万円多額となっています。
- (注13) 産学連携等研究経費及び寄附金事業費等については、一部、翌年度に繰越となったため、予算金額に比して決算金額が76百万円少額となっています。